

平成27年度第5回 流山市環境審議会 議事要旨

日 時： 平成27年12月8日（火）午後9時30分～11時

場 所： 市役所第2庁舎3階301会議室

出席委員：

新保國弘会長、金森有子委員、朽津和幸委員、吉永明弘委員、
村越弘行委員、秋元五郎委員、佐藤明委員、中大路早智江委員、
和田登志子委員

欠席委員：

赤坂郁美副会長、和田まつゑ委員、中村貴代美委員

事務局（環境政策・放射能対策課）：

古川環境部長、南雲環境部次長兼クリーンセンター所長
染谷環境政策・放射能対策課長、片浦環境政策係長
遠藤主査、渡辺主任主事

傍聴者：0名

議 題：

- 1 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）について
- 2 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について
- 3 その他

資 料：

- 1 実行計画(事務事業編)（素案～抜粋）
追加資料1 目標値設定の考え方
追加資料2 答申書（案）
- 2 区域施策編 部会経過報告
- 3 （参考） 区域施策編 部会資料

発言者	要旨
(議題1) 地球温暖化対策実行計画(事務事業編)について	
～事務局より本日をもって答申案を確定したい旨を説明～	
～佐藤部会長より目標値の修正と部会の審議経過について説明～	
和田登志 子委員	部会案のとおり案2でよいと思う。市民へのお願いを載せることは良いが、図の下の方など見づらいところは、文字を大きくする、ゴシックなど字体を工夫するなど配慮すべき。
事務局	了解した。
和田登志 子委員	ごみについて、前回小袋がダメだという話があったが、作業的な理由なのか何なのか、理由を一言入れると良い。
事務局	了解した。
新保会長	参考4について計画書の本文にも入れて良いかと思うがいかがか。
染谷課長	本文に入れるよう修正する。
和田登志 子委員	マヨネーズの空容器1本8.4グラムは比常に大きい数字だが。
染谷課長	例としては適当ではなく記載からは外すようにする。
中大路委員	カーボンバランスという表現があるがこれは一般的な表現か。注釈をつけたほうが良いのではないか。
佐藤部会長	意味としてカーボンニュートラルを示しているのであればそちらの表現の方が一般的でないか。
事務局	注釈等表現方法を検討する。
吉永委員	「分別をしてください」などのお願いしたい部分を前にもってくるなど文章構成を検討すべき。
事務局	了解した。
秋元委員	目標値2%というのがどの程度か分かりづらい。実感を持てる例えばビジュアル的な表現があると良いのだが。
染谷課長	参考4の市民1人当たり、1日あたりなどの表現を検討する。
秋元委員	私の団体で行っている緑を増やす活動では、木1本で人間何人分の二酸化炭素を吸収するかなどの表現をするよう

	努めている。
染谷課長	事務事業編は主に市役所の職員の取り組みを定めるもので、市民へのお願いも職員に念頭に置いてほしいもの示している。委員がおっしゃる点については区域施策編で検討したい。
和田登志子委員	レジ袋1枚をもらわない、何枚もらわないことで、1人当たりの目標にどう影響するかなど、分かりやすく書くと良い。
事務局	表現については検討する。
新保会長	ごみの水切りについて以前も聞いたが対策はいかがか。
南雲次長	水切りは非常に効果がある。手で絞ってもらうだけでも効果が高いので、これを啓発している。
新保会長	というのは、水は比熱が大きいと中学で教わった。ゴミを燃やすと、液体や固体は、残渣（灰分など）を除けば、気化して空気中に出ていく。ゴミは、生ゴミ（生物由来物質＋水を含む）、紙（セルロースなど）、プラスチック（塩化ビニール、ポリエチレンなど）、バツゴミ（鉄、アルミニウム製品など）といった種類によって、気化するまでに必要なエネルギー（熱量＝ジュール）が異なるのではないか。比熱を含め、この辺の技術的知見についてご教示賜りたい。
事務局	調査して報告する。
和田登志子委員	スーパーの小袋が困るという話を聞いたが。
南雲次長	二重袋は破碎の段階で中袋を破ることができず、中身の確認ができないことが問題となる。該当しないものは容リ協会には引き取ってもらえない可能性が出てくる。
和田登志子委員	容器包装リサイクルに回せないバツごみの分類説明の一番に、その他プラを持ってくるなどの配慮がほしい。
南雲次長	レジ袋自体は容リプラでよいが、中身が見えない二重袋が問題ということをご理解いただきたい。
新保会長	廃棄物については廃棄物対策審議会の審議事項となるのでそのへんで。事務局は修正意見を反映することで承認と

	いうことでよいか。それに当たっては、私と佐藤部会長に一任いただくこととしたいがいかがか。
委員 ～異議なし～	
～事務局より追加資料として答申案を提示～	
新保会長	答申案について特に意見がなければ承認としてよろしいか。
委員～異議なし～	
染谷課長	12月15日に市長への答申を行いたい。
新保会長	同席いただける委員は事務局へ連絡いただきたい。
(議題2) 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)について	
～佐藤部会長より部会の審議経過について説明～ ～金森委員より目標値等は資料の精査を行っていることから暫定であることの補足～ ～事務局より10月27日部会審議事項である①対象ガス ②計画期間・目標年度③二酸化炭素算定方法・基準年度 について審議会の承認をいただきたい旨追加～	
中大路委員	確認だが、資料の表記で元号と西暦表記が混在しているが、計画書ではどのように考えているか。
事務局	計画書については、先にもご意見いただいているとおりの併記とすることを考えているが、文章が煩雑になることも考えられるので、その時点でまたご意見をいただきたい。
秋元委員	現在算定されている市の排出量は2012年度が最新か。
事務局	2013年度は現在算定中で2012年度が最新となっている。2013年度排出量は2012年度より若干下がる予測であるが確定値はもう少しかかるのでご了承いただきたい。
新保会長	①対象ガスについてご意見が無いようなら承認でよろしいか。
委員～異議なし～	
新保会長	②計画期間・目標年度についてはいかがか。
委員～異議なし～	
新保会長	③算定方法と基準年度についてだが、按分法について事務局に説明いただきたい。

事務局	算定方法は国のマニュアルで、「積上法」と「按分法」が示されている。積上法は、エネルギー消費量などを積み上げて算定する方法で、精度は高いが作業量が多く、政令指定都市以上の自治体に推奨されている。按分法は、国・県等のエネルギー消費量などを按分して算定する方法で、政令指定都市以下の市町村に推奨されている。按分法では、全体の数字に引っ張られ、精度に疑問が残るが、積上法を行うには市町村単位での統計情報などが無いものもあり、現実的に難しいと考えている。
佐藤部長	部会でも市民の努力が見えなくなるなど、按分法の精度については議論になったが、データ収集の方法などを鑑み致し方なしとなった。
新保会長	③算定方法、基準年度についてはよろしいか。
委員～異議なし～	
(議題3) その他	
事務局	先にご審議いただいていた「路上喫煙の防止及びまちをきれいにする条例に基づく重点区域の指定について」は、10月14日に答申を行った。その後、平成28年2月1日施行に向け、看板、表示などを含め準備を進めている。 また、先に諮問を行っている生活排水対策推進計画については、柱となる対策の一つである下水道について上下水道局で大きな変更が予定されており、上下水道事業運営審議会で審議されている。これらの動向の同計画への取り込みが必要と考え、経過を見ている状況にある。
中大路委員	下水の方向転換の報告は環境審議会へはどのように行われるのか。
事務局	下水道の方向性が出るまで同計画策定は延期せざるをえないという主旨のご報告でご理解いただきたい。近く上下水道局で住民説明会を予定していると聞いているので、動向については逐次環境審議会にも報告していく。
中大路委員	了解した。

事務局	報告事項として、秋元委員が代表を務める「小さな森づくり in 流山プロジェクト」が、第 10 回マニフェスト大賞の審査委員会特別賞を受賞したのでご報告する。秋元委員にも一言いただきたい。
秋元委員	会員の方でコツコツと被災地に苗を送る事業なども行っている。受賞を励みに今後とも活動を続けていきたい。
新保会長	私どもの団体では、2月に森の図書館で行う運河塾で江戸川大学の学生さんに、ソーラーパネルが地域環境と生物多様性へ与える影響についての講演をお願いしている。ご興味がある方はぜひ参加してほしい。
事務局	もう一点報告だが、11月に流山市の生物多様性ながれやま戦略と関連事業が、「国連生物多様性の10年日本委員会（UNB-J）」が推奨する連携事業に認定された。これは、愛知目標（COP10）達成のために各セクターの連携を促進するために同委員会が認定するものである。
事務局	報告は以上となる。次回審議会は3月下旬としたいがいかがか。
～3月28日（月）10時からとした～	